

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

August 2021

Écoutez Bien Vol.38 No.437

8

世界に届け 立川の元気!

表紙／諏訪神社例大祭で (2009年撮影・柴崎町)



砂川の伝承民謡

案内人：豊泉喜一氏

前号では砂川音頭を紹介しましたが、コロナウィルスで亡くなった志村けんさんで一躍有名になった東村山音頭を始め、立川音頭、砂川音頭など現代の民謡は本職の作詞家や作曲家が作った民謡調歌謡曲で、本来の民謡とはやや異なり新民謡といわれるものです。

本来の民謡とは花柳界などで謡われるお座敷歌とも異なり、厳しい労働の中から自然発生的に生まれ、歌い継がれて来たものが多い。昔は重労働であった作業の多くは機械化され、現代では労働歌を唄いながら作業をすることなどほとんどなくなり、昔から歌い継がれてきた民謡は姿を消しつつあります。

そんな中で昭和40年(1965)11月25日、砂川の産業や郷土史に大きく貢献された、山本宗祿氏や荒井一氏などを中心に200名余りの会員が参加して「砂川伝承民謡保存会」が結成され、砂川地域で昔から歌い継がれてきた民謡を聞き書きや、テープレコーダーに収録、「麦打ち唄」「白挽き唄」「茶摘み歌」「茶もみ歌」「養蚕数え歌」「機織り歌」「糸引き唄」「藍葉棒打ち唄」や数種類の「わらべ歌」などが集まりました。その結果、昭和44年度NHK芸能百選に選ばれ、「麦打ち唄」「糸引き唄」「茶もみ歌」が全国に披露され、ラジオの「昼の憩い」などでも放送されました。

その秋、集められた伝承民謡に踊りが振り付けられ、阿豆佐味天神社境内で盛大な発表会が行われ、レコードへの吹込み、記念品に麦打ち人形が作られ今も残っています。

ここでは紙面の都合もあり民謡の歌詞をご紹介しますが、それぞれの民謡は砂川の歴史や産業、民俗などを知る上でも大変貴重な資料でもあります。砂川は水田がなく畑作地帯で麦が主要産物でした。真夏の炎天下、麦の脱穀作業は大変厳しい作業で、動力脱穀機が普及するまで、麦打ちは「麦打ち唄」を唄いながらの大変な重労働でした。現在も一部で栽培されていますが、幕末から明治にかけて砂川はお茶の産地で、盛んに製茶が行われ全国共進会で入賞するようなお茶が生産されていたので、「茶摘み歌」「茶もみ歌」も残っています。

また砂川の主要産業であった養蚕については、作業が歌になじみにくいためか作業歌はありませんが、蚕の飼育に大切な要領が「養蚕数え歌」に謡いこまれています。作業歌としては、繭から糸を取り出す「糸引き唄」や、その糸で織物を作る「機織り歌」などがあります。



麦打ち 砂川地区伝承民謡保存会によって再現された際のもの
「写真集たちかわり」



立川市推奨観光土産品「麦打ち人形」 阿豆佐味天神社所蔵

現在NHK大河ドラマ「晴天を衝け」で主役の渋沢栄一家が藍染めの原料「藍葉」を作っている情景が出てきますが、現在「藍」は化学染料に代わってしまいほとんど生産されていませんが、かつて砂川でも「藍」が栽培され、その収穫作業に謡われた「藍葉棒打ち唄」が残っていることは大変興味を持たれます。

現在伝わっている民謡の歌詞を調べて見ると、砂川だけでなく周辺の地域にも似たような歌があり、広く多摩地域で謡われたもので、部分的に砂川独自の歌詞や音階があるように思われます。ちなみに「砂川伝承民謡保存会」が発足当時調べた結果では、旧柴崎村には「多摩鮎担ぎ音頭」以外民謡らしきものはほとんど見つからなかったとのことでした。

世界に元気を届けたい。

「無限の希望」

東京立川こぶしロータリークラブが世界に発信した応援歌
公募した歌詞に曲をつけた作曲家と
それをアレンジ、さらにはPVを作った編曲家に話を聞いた

無限の希望 (Infinite hope)
東京立川こぶしロータリークラブ 創立35周年記念事業
「世界への応援ソング」最優秀賞
YouTubeで動画配信中



—この度、東京立川こぶしロータリークラブでは35周年記念事業として『世界への応援ソング歌詞』を公募し、最優秀賞の歌詞に曲をつけて世界に発信されました。その歌の作曲をされたのが浅野さんで、アレンジしPVを作られたのが倉富さんですね。

倉富 そうです。

—5月11日に歌詞の表彰式とできあがった曲の披露がありました。久しぶりの生演奏でしたが、やっぱり生はいいですねえ。久しぶりでしたか?

浅野 そうですねえ、僕も去年の秋にライブして以来でした。



倉富義隆さん

サクソ奏者、編曲家。福岡県出身。中学校の吹奏楽部でアルトサクソを始める。あらゆるジャンルの音楽、楽器に興味を持ち、大学時代から地元で音楽活動を始め、1980年プロ活動開始。1984年単身上京、スタジオでの仕事をきっかけに、アーティストのコンサートサポートや編曲の仕事をする。1988年リリースの小比類巻かほるのTogether(ニューヨーク録音)のヒットをきっかけに、色々なアーティストのサポートに携わるようになり、矢沢永吉プラスセッションリーダーを10年以上務めるなどアーティストからの信頼も厚い。現在は幅広いジャンルにおいて活動中。柴崎町在住。

—おふたりは立川にお住まいなんですね。でも失礼ながら、立川にいらっしゃるのを存知あげませんでした。

倉富 私たちは、地元で演奏活動をほとんどしたことがなかったんです。ミュージシャン仲間に出てほしいと言われて、浅野さんを誘って出演したことがあるくらいです。でもそこは小さいライブハウスで、キャパ何人でしたっけ。

浅野 15人とか。南口の錦町にある小さなライブハウス、「月ノ海」でしたか。

倉富 40人くらい来て満席になっちゃって。もちろんコロナの前でしたが。

—公募された歌詞の審査員をおふたりはなさったわけですが、まったくの素人さんも応募されてきたわけですか。

浅野 もちろん、そうです。中学生から。海外からもあったみたいですね。初めはそんなに来ないだろうということだったのに、結局は全部で413作品。

—それを全部ご覧になったのですか?

浅野 全部見ましたよ。ルビ地獄でしたね(笑)。全然頭に入ってこないですよ。

倉富 ルビが振ってあると全体が読めなくて、飛び飛びな感じになってしまうですよ。

浅野 募集要項に「漢字にはルビを」と書いてあったので、全部の漢字にルビを振って来られたんですね。例えば「瞬間」と書いて「とき」と読ませたいとか、そういう場合にルビを振ってもらうという意味だったのです。でも完全にルビが振ってあったので、これは辛かったですね(笑)。

—コロナ禍での応援歌でしたが、どんなものが応募されてきたのですか。

浅野 「コロナが憎い」とか、ラブソングで「コロナのおかげで会いたいの会えない」というものとか。切ない気持ち、でもいつか会える日が来るんだという詞が結構多かったですね。中には「あなたと私のディスタンス」といったコミカル

なものとか。ボランティア音頭とか、それもなかなか面白かったですね。五七調の、見た感じが演歌だなと思われるものもありましたね。

—詞を見ながら、これは演歌だなとかこれはアニソンだなとかって、わかるものですか。

浅野 すぐわかりますよ。言葉の方からサウンドが伝わってくるんです。

—よくわからないで書いていた人もいたのでは。

浅野 だから日記みたいなものもありましたよ。「今日起きて何をして」といった。ダーッとそれが続いているとかね。

—どのくらいの期間でその413作品を見たのですか。

倉富 昨年末から1月にかけてのひと月くらいですね。

浅野 こぶしロータリークラブの審査員の方々も413作品から20作品くらいに絞って、それからお目にかかって一緒に審査したという経緯でした。

—20作品選ぶのも大変でしょうが、20から1つ選ぶのも大変でしょうね。

浅野 20から10にして、まずはそこから違うタイプのものを4つ選んだんです。

倉富 最終的には浅野さんが曲をイメージして書くので。

浅野 最後は僕の独断でということになりました。その4つから僕も2つを選んで、バラード調のものとして最優秀に選ばれた「無限の希望」と。

倉富 その時点で「これはこんな曲想だね」という話は、僕と2人ではしていたんです。

浅野 で、実際2曲とも作って見たんですよ。でもバラードの方は自分でも納得いかなかった。いいメロディーが浮かんでこなかったんです。「無限の希望」の方は速かった。1時間くらいできてしまったんです。

倉富 バラードの方は僕、聴いてないですね。「無限」はお願いしますと言った翌日に、大卒の

メロディーをもらったので、「お、速い!」と思いましたね。何回か聴くうちに要望がいろいろ出てきて、そこで直していきました。

浅野 音楽的に言うと、短調と長調ですよ。バラードの方は長調で明るい感じ。「無限」の方はマイナーな、イメージ的にはロック。アン・ルイスとかSHOW-YAが歌うようなイメージがあって、見るからにアニメの歌詞だったからそういうサウンドにしました。

—やっぱりアニソンですよ。

倉富 曲を作っている最初の段階では、ギターサウンドのロック系です。

浅野 テンポも速くてね。でもちょっと短調だから。こぶしロータリーの最初の打ち合わせでは「We are the world」みたいなという要望があったんです。

倉富 みんなで手を振りながら歌うようなイメージですね。それを考えてアレンジしようとしたら、全然そうではない曲だった。マイナーで暗い感じだったので、メジャーにして少し明るい感じを入れた方がいいような気がしますと話をしたわけ。同じ歌詞でメジャーな曲を作ってもらえませんかというお願いしたんです。

—え!(笑)

倉富 でも「いいよ」って言ってくださって(笑)。

浅野 アレンジで明るくできるんですよ。

倉富 あと、サビを転調したんですよ。

浅野 転調して明るめに。でも、書いてくれているからメジャーも書いたんですよ(笑)。で、聴いてみたら、やっぱり前の方がいいんじゃない?っていうことになって。結局、せっかく書いたからということになってメジャーなサビを当て込みました。

倉富 今回は私がプロデューサー的なこともさせていただいていたので、転調しただけの明るさでは物足りないと思って、間奏を明るくしようかなと思ったのですが、間奏を明るくしただけではまだ足りない。メジャーで書いてもらっ

た部分を入れて聴いてみたら、実際にいい感じだったんですよ。

浅野 それで歌詞は一緒なんですけど、大サビの部分にメジャーな部分を作って入れたらパッチリになりました。メジャーで作った曲も無駄にはならなかった。

—ご苦労を知らず、聴いている方はもう歌詞とピッタリはまっていて。ものすごく気持ちよく聴かせていただきました。またPVともよく合っていて。根川のせせらぎとか鬼公園とか、歌と違和感なく背景に流れていましたね。

倉富 そうですか、それはよかったです。

—最後の方にコブキヤさんのフレームアームズガール(FAガール)が登場したら、まさにアニソン!ピッタリでしたね。

浅野 そうでしょう。

倉富 PVに関しては、YouTubeにアップするためのおまけ程度に考えていたんです。でも世の中が変わってきてPVが大事になってきて、おまけではまずいなと思って。

—素晴らしかったですよ。

倉富 アニメがハマり過ぎていて、FAガールを入れると完成度がものすごく増すんです(笑)。でもアニメの主題歌ではないですから、そういうわけにはいかない。スピード感を出すために自転車でも走りました(笑)。

—あの作詞の朝陽昇子さんはプロですか?

浅野 別のペンネームで詞を書いているようですね。文字数も、選ぶ言葉もよくできた作品でした。

—おふたりは若い頃からの知り合いなのですか。

倉富 私は福岡でジャズバンドがある大学に行き。

浅野 倉富さんは長瀬剛さんの後輩ですよ。

倉富 高校はフミヤ君の一年先輩です。浅野さんは福岡大学なのですが、博多で学生バンドをやっていた頃から交流がありました。



撮影協力: cafe ばくだん畑(富士見町)

浅野 僕は学生バンドをやめて、プロを目指して博多ですってバンドやっていたんです。その頃東京にツアーで来て、横浜と千葉と3ヶ所回るツアーをしたんですよ。

倉富 あの頃はアマチュアでもツアーできたんだよね。

浅野 その時にいち早く、倉富さんは東京に来ていて、華々しくやっていたよ(笑)。

倉富 私たちも、これから少し地元で演奏していこうかなと思いますよね。

浅野 25年も住んでいるのだから、地元立川での活動を通じて貢献していければ良いと思いますね。これをきっかけに。



浅野佑悠輝さん

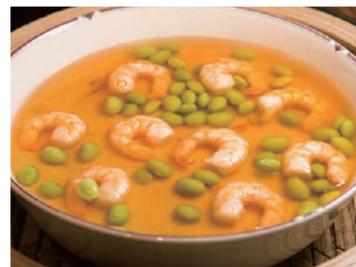
作曲家、シンガー。山口県出身。福岡大学在学中より1986年まで博多でバンド活動をしていたが、その後上京。1988年「刀根麻理子」に書いた「クリスタルハート」で作曲家デビュー。1998年男女ボーカルユニット「PIAS」の「恋はサーカスゲーム」で歌手デビュー。2001年「夏川りみ」のライブ活動にギター&ボーカルで参加。2007年「小林幸子」に書いた「恋桜」がNHK紅白歌合戦で歌われた。現在、楽曲提供しつつ幅広い世代に共感できるメロディーを作り、唄い続けている。上砂町在住。

再開してます、 イルペペの ランチビュッフェ

和洋中の料理を揃えてお待ちしております

一番楽しいはずの飲食現場。休業や時短、あげくはお酒を止められて、それでも工夫して、ランチビュッフェ再開です。
1994年の開業以来、立川のみなさんと共にあるパレスホテル立川。ランチビュッフェに行ってきました!

コロナ禍で、どこもホテルは大打撃。でも、みんな頑張っているのです。再開でできたアートの街区 ファーレ立川の顔として27年。立川の街に寄り添ってきたパレスホテル立川の、ランチビュッフェが6月12日から再開しています。当面は土曜日、日曜日みの営業ですが、気になる、気になる。同ホテルの他のレストランはまだ再開していないので、和洋中をイルペペに集めて皆さまにご提供。オプションでボイルずわい蟹の食べ放題もつけられます。写真は6月のメニューですが、7月もコンセプトは変わりません。慣れ親しんだホテルの味をまた楽しめます! お互いに、ルールを守って、命を守って。
(最新情報はホテルHPでご確認ください。)



地下で行われている取り組みです

そして何と言っても、パレスホテルのごみ処理施設が美しい。ゴミ集積所の美しさは、その担当者の性格による?と思うほどきれいです。エコポストを持っているので、油分・脂分、塩分などを排除した生ごみを土に返して、協力農家でまた野菜作りに活かしてもらおう。SDGsを20年も前から実践されています。レストランも営業していない、宴会もない、結婚式も小規模にという今、あまりゴミは出ませんが、通常営業になってもしっかり対応していける、頼もしい存在です。

生ゴミを土にするエコポスト



どこもかしこも整然としています

(撮影協力: 松浦商事)

ゴミを集めておくギャベジ冷蔵庫
15℃で管理されています



ここで仕分けられたゴミは
処理場に運ばれて行きます



えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 柴崎町・富士見町 のお店です。

柴崎町

- ヘアサロン オオヌキ.....528-0809
- 中国四川料理 山城.....512-8356
- 酒歩 たから.....528-1510
- リサイクル着物 着楽堂.....523-9702
- 天婦羅・うなぎ 良銀.....522-6702
- ギャラリー きらら.....522-3913
- 生活雑貨 EAST END.....523-9636
- 特むし銘茶・海苔 菊川園.....526-2035
- ジョイフルプラザ.....0120-29-2775
- めん心 堤屋.....525-6602
- hoccori*café.....595-8379
- 立川わかば整骨院.....526-8518
- 中華小皿料理 得得屋.....528-1060
- Fashion You Me.....523-1640
- 石原薬局.....523-4067
- サイクルハウス 輪輪館.....522-8100
- (株) 正盛堂.....522-2328
- 小林歯科クリニック.....527-8217
- ビューティーサロン ウィスタリア.....527-1116
- オリオン書房 サザン店.....525-3111
- ピストロ&バル ラポール.....529-3088
- WISH BONE.....527-7199
- 西武信用金庫 立川南口支店.....529-1311
- たましん 南口支店.....528-2211
- リオネットセンター立川.....523-3321
- りそな銀行 立川支店.....522-4161
- オリオン書房 アレア店.....521-2211
- ほっとすべーす 中屋.....522-2932
- 立川ワシントンホテル.....548-3380
- Coffee Shop LARGO.....525-6704
- (株) けやき出版.....525-9909
- ペーカリー&カフェ BAKU BAKU.....527-2721
- 喫茶 ギャラリー花.....524-3668
- 髪職人 YOSHIZAWA.....522-5593
- のーかる.....512-5415
- 矢沢歯科.....525-6600
- キッチンコート立川店.....540-1131
- LaLaLa.....090-2564-3198
- 酒 醍醐.....522-4926
- スープ・カフェ なんでもない日.....523-5114
- 武本測量(株).....524-7731
- 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
- NPO 法人 東京賢治の学校.....523-7112

富士見町

- (株) 浅見酒店.....522-2823
- 伊藤接骨院.....524-7861
- 西村歯科クリニック.....519-9501
- 井上レディースクリニック.....529-0111
- 中華レストラン 東華園.....529-0458
- 有料老人ホーム サンピナス立川.....527-8866
- 飯塚花店.....522-5684
- うさぎ専門店 ラッキーラビット.....524-6054
- びーびーK 70.....525-3623
- (株) ホーミー.....522-2220
- カフェ・貸しホール ばくだん畑.....522-2214
- 波多野米店.....522-2884
- 立川市社会福祉協議会.....529-8323
- 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
- 乙黒東洋整骨院.....523-1859
- インテリア アイアイ.....522-5972
- たましん 富士見町支店.....528-1741

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は
 スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

立川ダイス、ホーム戦優勝!

地域密着の3人制プロバスケットボールチーム「立川ダイス」。2016年から立川商工会議所・立川市商店街振興組合連合会・立川観光協会・立川青年会議所など市内4経済団体が発起人となって運営してきましたが、2020年4月からはアリーナ立川立飛を本拠地とする一般社団法人多摩スポーツクラブが運営に加わり、より市民の皆さんに親しんでいただける環境が整ってのシーズン2年目を迎えています。

6月27日には2年ぶり、〈3x3.EXE PREMIER 2021SEASON KANTOカンパレンス Round.3〉がホームであるアリーナ立川立飛で開催され、会場をオレンジ色に染めたファンやFairly DICEのかわいいチアたちもチームを後押し。声が出せない静かな応援の中に、見事ホーム優勝を果たしました。去る5月22日にゼビオアリーナ仙台で行われたRound.1でも立川ダイスは総合優勝しており、今季とても楽しみで、目が離せませんね!



ジージョ・ベイン選手 213cmの身長をいかして



優勝を決めて



福田大佑選手 この日のMVPでした



サポーターのみなさん



サポーターと喜びを分かち合う



池田千尋選手 頼もしいキャプテンです



応援してくれるみんなと

「コトブキヤ・プレゼンツ」コーナーが登場

地元の文化・スポーツ分野の応援を積極的に行いたいとおっしゃる壽屋さん。6月8日に立川市との間で「たちかわ電子図書館」の電子書籍コンテンツに関する覚書を締結。7月1日から「たちかわ電子図書館」に270タイトルの「コトブキヤ・プレゼンツ」電子書籍コンテンツが公開されています。270タイトルは壽屋さんの「ものづくり」に関わる社員さんたちが選書したそうですが、どんな本があるのか、興味津々。ぜひアクセスしてみたいですね!「たちかわ電子図書館」は2021年1月に開設されたもので、PC



サンサンロード沿いにある壽屋本社

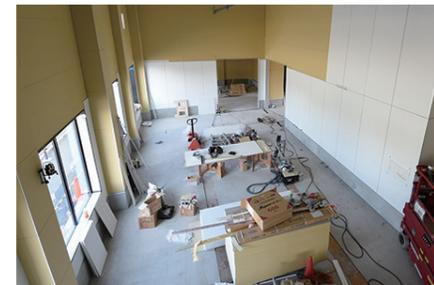
でももちろん、スマホでもタブレットでもアクセスできるオンライン図書館。立川市図書館の有効な利用カードを持っている方ならどなたでも利用できます。

BREWERY TACHIKAWA TACHIHI

立飛さんのビール醸造所に看板とマークがつけました。年間80キロリットル。3つのフレーバーに、季節の味も作るのだとか。写真は6月10日に撮影したのですが、梅雨明けの頃にはもっと充実して、そろそろお引越しかな。



看板がついた外観



ここにタンクが入ります

アロサウルス登場!

グリーンスプリングスに棲みついている恐竜が、今夏も街を練り歩き。7月は迫力のアロサウルス。8月は鳥の先祖か? ユタラプトルです。予定では、12:30~、15:30~、18:30~毎日3回。まだご覧になっていない方は是非。見たことはないけれど、本物そっくりのはずです。



アロサウルス

消防署と農協の協定締結



(左)佐藤芳邦立川消防署長(右)JA東京みどり代表理事専務 村田調男さん
 写真提供:立川消防署

7月7日、立川消防署は東京みどり農業協同組合との間で、「大規模災害時における食料品等の供給に関する協定」を締結しました。これは震災等の大規模災害時において、長期間にわたる消防活動を維持するためにJA東京みどりが協力するものです。立川消防署ではこうした協定を他団体とも締結しており、どんな時にも備えて消防力の維持・継続を図っています。備えて大事ですよね。

大賀ハスの花

このコーナー、毎月花が登場しています。今月は大賀ハス。お寺の境内にきれいな花を咲かせていました。今年は例年より少し早くから咲き始めたようです。国営昭和記念公園のこもれびの里でも、池にスイレンが見事でした。国営昭和記念公園のHPで楽しめます。



表紙

諏訪神社例大祭の一幕

今年も中止になってしまいましたが、本来は賑やかにお囃子が聞こえてくる夏です。諏訪神社例大祭のどの場面を切り取るのか、悩みました。奉納獅子舞も伝統芸ですし、お神輿の巡行も立川らしい。曙町1丁目の道路に飾られる提灯も風情があるのです。当たり前に行われてきたお祭りですが、街から消えてしまつて2年。来年こそその思いを込めて、お祭りの一幕を表紙にしました。こうしてみると宵闇に浮かぶ衣装の赤がなんと日本らしい。まさに日本の朱(あか)という感じですね!『朱塗りたる高欄を造り渡して』と昔の書物にもありますが、宮殿や寺院の周りにある欄干や鳥居などにある色です。この朱は一説には魔除けの色でもあるのだとか。アマビエもいけれど、こうした色にも効果があつて欲しいと願います。

かたこと

◆7月初め関東・東海の豪雨による災害で犠牲になられた方々にお悔み申し上げるとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます◆8月号になりました。コロナに明けた年も半分過ぎ、大雨や台風、猛暑の時期を迎えました。災害避難を考えると、なお一層コロナが早く収まることを願わずにはいられません。そんな中、立川市の感染者数は近隣市より比較的少ない。賑わいを創出している街なのに、みなさん頑張っているのだと改めて思います◆東京五輪やインバウンドへの期待から上昇し続けていた地価も、2021年の公示価格は全国的に下落の様相。その中で、東京市部の地価上昇ランキングの1位は立川市柴崎町2丁目なのだとか。これは、大変大変と言いつつも前進を止めない立川の在り方によるものではないでしょうか。さすが、立川です◆さて、その立川の夏休み。そしてオリンピック。家で観戦、応援するのでしょうか、立川に縁ある選手たちを応援してみませんか。フェンシングの江村みさき選手は女子サウルのメダル候補。立飛HDが支援しています。近代五種の高宮(旧姓・朝長)なつ美選手も令和元年アジア・オセアニア選手権大会で2位の強者。警視庁第四機動隊所属で立川市在勤です。他にも、立川市内で事前キャンプを行ったパナムの選手たちなど、スポーツ立川ですから見逃せない競技がいくつもあります◆立川の地元に戻れば、誰もが楽しめるイベントが、感染症対策に取り組んで盛りだくさん。それぞれにルールを守って楽しみましょう。えくてびあんも楽しみます。えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ㊄

8月号 第38巻 通巻437号

令和3年8月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL https://www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

一般社団法人立川観光コンベンション協会設立

6月16日、立川商工会議所と多摩信用金庫は MICE 開催による交流促進、マネジメントによる経済波及効果の最大化を目的とした「一般社団法人立川観光コンベンション協会」を立ち上げました。と言われても、コンベンションがわからないし MICE がわからないというのが市民の心。わからないことには無関心でいたくなるのも大衆の心理です。ということで、せっかく立ち上げた事業ですから詳細を聞いてきました。

場所は立川市役所市長室。こんな事業を立ち上げましたと市長にご挨拶にいらした同協会の役員の方々。清水市長も、立川市としても協力していきたいとお話なさっていました。

MICE は、例えば会議だったり研修だったり展示会だったりというビジネスイベントの総称で、規模はいろいろですが国際会議を呼び込んだり、多摩という立地を生かした研修あるいは慰安目的の旅行を企画したりして、人流を呼び込み交流をもっと活性化、そこに連なる事業展開で、今後予想される人口減少や開発の一段落といったブレーキを乗り越えて、将来に亘って繁栄する街づくりを考えたいということのようです。砂川を中心とした都市型農業も立川市の大事な観光資源！

都心のベッドタウンとして成長してきた近隣市部とは異なる立川。多摩の中心の役割をこれからも果たしていってほしいですね。



左から、立川商工会議所会頭 川口哲生さん、立川観光コンベンション協会会長 佐藤浩二さん、清水庄平立川市長、同協会副会長 岩崎太郎さん



立川市から市長と産業文化スポーツ部長の矢ノ口美穂さんと奥野武司課長



立川市内で過去に行われてきたイベントの例